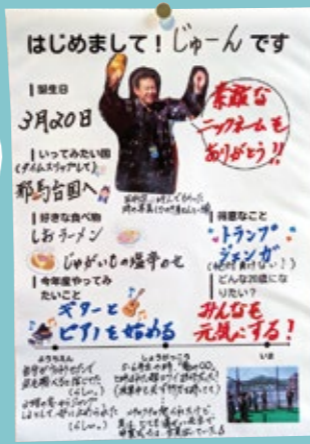


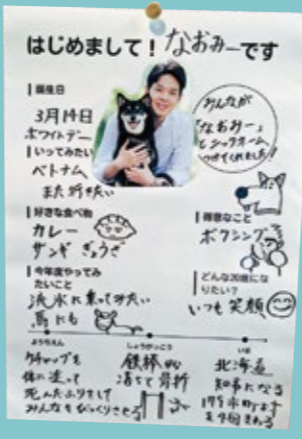
みかん箱通信



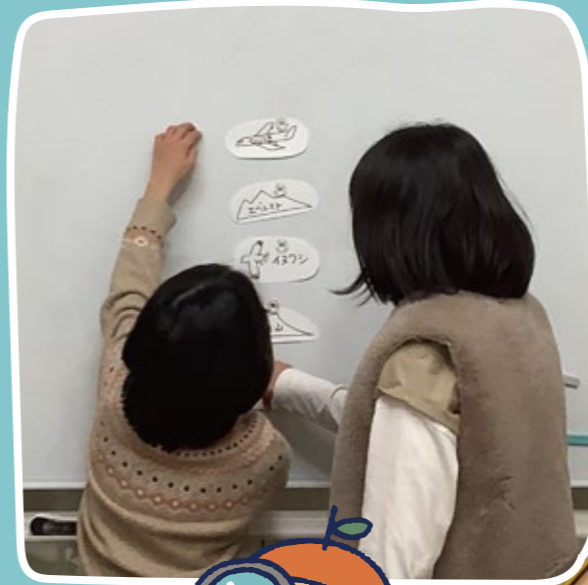
なみちカフェで
鈴木直道北海道知事が
訪問してくれました!



はじめまして!じゅんです
大泉潤函館市長と
鈴木直道北海道知事が
自己紹介カードを
書いてくれました!



学びの探究塾とは?



遊んでいるようで、免れ生している。

探究塾は小学生を対象にした、そんな場所です。
こどもの「えっ?」とか「あっ!」とか驚く顔を見ると「やった!」と思います。
こどもに学んで楽しいと感じてほしいと、教材の虫や植物を採取したり、実験したりしているおとなが、実は一番楽しんでいるのかもしれない。
探究塾では、テストで測れる表面的な学力ではなく「じっくり考える力」「想像する力」「自信を持って自分を表現する力」「学びたいと思う意欲」といった、もっと深いところにある学びの土台を育てたいと考えています。
成果は見えにくいですが、本当に大切なものはそういうものではないでしょうか。

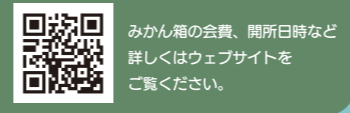
おとな 研修会

自由の森学園公開研究会に参加してきました!

探求塾と同じように、点数評価からの解放を目指す教育を行っている自由の森学園(埼玉県)の公開研究会に参加しました。
まず、こどもたちが伸び伸びと自由に暮らしている印象を受けました。1階教室では、こどもたちが、自由に秋めいた庭に出られる環境が魅力的でした。授業参観では、国語だか社会だか理科だかわからないような授業もあり、奥深いなあと感じました。自然も歴史も、こどもたちが、自ずと社会や自分と結びつけて考えているところが新鮮で、これまでの自分にはなかった視点だなと、はっとしました。
数学の授業では文字式の勉強をしていましたが、自分もおもしろくて次が知りたくなり、その場を動けないほどでした。
分科会では、数学科教員の方々が、こどもがつまづきやすい文字式の導入に際して、本当に心を砕いていること、思考と発見のある授業を目指し、好きな数学の学びの楽しさに気づいてほしいと熱い思いを持っていることに刺激を受けました。私も好きなことに自信を持って、みかん箱を続けていきたいと胸が熱くなって函館に帰ってきました。(こがめ)

こどもたちが先生のように授業をする分科会で、「居場所」をテーマにしたものに参加してきました。
そのこども自身が普段から疑問に感じていること・モヤモヤしていることを生徒や一般参加のおとなたちに投げかけて討論をしていました。この分科会を開くまでに、こどもと教師は入念に事前準備を行ってきたことが伝わりました。司会進行も全てこどもたちで行うことで、参加している生徒も自分事のように捉え、前に立つ生徒の話と向き合っていました。
みかん箱でも、自分から発言する力や疑問に思ふ力、それらを問い出す力、出てきた意見をまとめる力などに繋がるものを育てていくことの重要性を再確認することができました。座学では学ぶことのできない人間力や社会で生きていく力を育めるよう私たちおとなも学び続けます。(國嶋)

会員募集中!
mikanbako.info



編集後記

今回のみかん箱通信は、学びの探究塾をテーマに作成しました!私自身今年度から関わらせていただきましたが、学ぶ楽しさを五感を使いながら、ともに育んでいければと思っています。
みかん箱を応援したい方は、ぜひHPを覗いてみてね!
(編集員:宮原)



みかん箱通信

冬号 No.3 無料
2025年1月31日発行
一般社団法人みかん箱
〒040-0053
北海道函館市末広町9-9
電話 0138-84-5762
●発行人:曾我直人
●デザイン:スギナカモモコ
●みかん箱通信編集員:
押野友美、國嶋莉々、福田琢磨
こがめいづる、宮原ゆい



みかん箱運営報告

- 小学生会員数 8人
- 中高生会員数 13人
- ボランティア数 6人
- 非常勤職員数 9人
- 常勤職員数 1人

(2024年12月31日時点)



— 学び・出会い・感動を繰り返して、人生を豊かにする —



学びの探究塾

孝女 紹介



火花が光った何秒後に音が聞こえるかな？とれくらい遅れるの？



一粒のお米から何粒のお米ができるの？



お米一合って何？何粒？



2回折ってここを切ったら、どんな形になるかな？



オタマジャクシガエルになった！



つくしの胞子観察「宇宙人みたい〜！」

大事にしていること

- ① 季節に沿った生の教材に触れて五感を鍛える
- ② 数、長さ、重さなどの数量の実感をつかむ
- ③ 指先を使う

恒例のカルタ作り



おのともみの きになることも、きいてきました！

「学びの探究塾」に通うごどもの保護者様にお話を聞いてみました！

- ① お子様のみかん箱の「学びの探究塾」に通うようになったきっかけを教えてください。
- ② いつからみかん箱に通っていますか？
- ③ みかん箱のことをどう思いますか？みかん箱に通っているお子様の様子で、通う前と現在で変わったところなど気がつくことはありますか？
- ④ 今後みかん箱に期待することはありますか？

ご協力ありがとうございました！



Bさん

- ① 友達と通っていたようで、こどもたち自身が興味を持っていたからです。
- ② 2024年春
- ③ 毎週みかん箱の日を楽しみにしていて、お迎えに行くと夢中で作業をしているので、楽しんでいる様子。身近なことに興味を持ったり、学んできたことを教えてくれるようになりました。
- ④ 学んだ事が自分の暮らしの視点を増やすだけでなく、ほかの地域や海外など、外の世界に目が向いていくようなきっかけになっていくとありがたいです。

Cさん

- ① 姉が通っていたからです。
- ② 2020年2月
- ③ もうずっと通っているのですが、通う前との違いはわかりません。たまに活動を見ることがあったので、家や学校では触れない題材があってそういう経験が低学年からできることは娘の今後に影響するかもと、良い場所だと思います。
- ④ 娘の同級生が、みかん箱は遊んでるだけで勉強しない。と言っていたのが印象に残っていて、小さい時から勉強は楽しくない事だと思っているのかと思ったことがあります。だからこどもは勉強嫌いなんだよね、と思うので楽しく生きた学びがある場であるといいなと思います。いつもありがとうございます！

Dさん

- ① 勉強が嫌いなので、少しでも勉強をしてほしいと思いました。
- ② 3年生
- ③ みかん箱での勉強はとっても楽しんでやっていて、特に花火の光と音の関係などに興味を持ったようでした。(今は忘れちゃったみたいですが)
- ④ これからもよろしく願いいたします。

Eさん

- ① もともとひのてんで通っていて、チラシを一目見て「楽しくない」と直感しました。進学塾には興味はなかったのですが、学ぶ楽しさに触れてほしかった。学ぶことが好きになってほしかったです。
- ② みかん箱がスタートしたとき(2020年)から通っています。学ぶ楽しさを味わってほしくて、やってみたら声をかけました。
- ③ 週に一度、こどもがおとなの関わりのもと、じっくり「学ぶ」という時間はとても貴重な体験だと思います。みかん箱で学習したことを自分なりにノートにまとめて家庭学習として、学校に提出し、先生からも誉められました。
- ④ 保護者も一緒に盛り上げたい。保護者同士、講師との交流の場があるといいですね。

Fさん

- ① ひのてんで、みかん箱があることを知ったことが、お友達と一緒に通いたいと言ったことがきっかけです。
- ② 1年生の冬から
- ③ 学校で習うことだけではなく、こどもの興味や好奇心を広げてくれる存在だと思います。親の私でも分からないことを教えてくれたりします。
- ④ 実験などで自分で答えを考え導いたり、いろいろな体験を通して経験を積んだり、年間を通して何かを育てるなど物の変化や成長を学べたりできるいいなと思います。家でもそのような学びができたら良いのですが、日々の生活でなかなか難しいので。

Gさん

- ① みかん箱の関係者にお誘いしてもらい、通うようになりました。
- ② おそらく小学校5年生からです。
- ③ こどもの実力に合った授業内容で、無理せず取り組んでいるので安心しています。
- ④ 回数を増やしていただけたらと思います。

くにしまりりの シゃッターチャンス じゃないですか？



四季の社公園へ自転車旅！(ベースキャンプ)



分数の大きさ比べ！(探究塾)



記憶ゲーム挑戦中！(探究塾)



世界に一冊だけの本・展に行っちゃ！(ベースキャンプ)



四字熟語カルタで遊んでいるよ(ベースキャンプ)



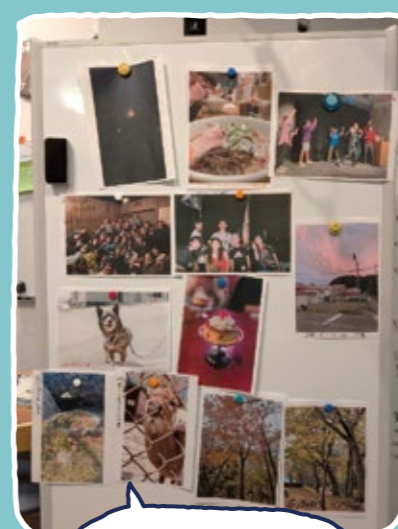
卓球と風船バレー(ベースキャンプ)



クリスマスにパンケーキ作り(ベースキャンプ)



ボールパークにライトがついた！暗くなってからも楽しめた！(ベースキャンプ)



「好きなもの」をテーマに写真コンテスト(ベースキャンプ)



12/8開催のオープンみかん箱！ウクレレに挑戦中



みかん箱を応援したい方はこちら！